

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語ⅡA (情報科学・工学系)
科目基礎情報					
科目番号	0032	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	創造工学科 (一般科目)	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	3		
教科書/教材	教科書: "NEW ONE WORLD Communication II Revised Ed." (教育出版), 準拠ワークブック (教育出版), Tim Vicary "The Coldest Place on Earth" (教研出版) / 参考図書: 早瀬尚子「理解しやすい高校英語: コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」(文英堂), 1年次購入の文法テキスト				
担当教員	東 俊文				
到達目標					
1. 「読む」「聞く」という作業を中心に基礎的な英語で書かれた平易な文章を理解し, その内容を日本語で説明できる。 2. 英文を通して, 国内事情や海外事情などに関心を持つことができる。 3. 継続的な学習により, 英検準2級の取得が現実的となる英語力を身につけ, 英語学力テストによって自身の英語力を正確に把握できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 英作文力	「読む」「聞く」という作業を中心に基礎的な英語で書かれた平易な文章を理解し, その内容を日本語で正確に説明できる。	「読む」「聞く」という作業を中心に基礎的な英語で書かれた平易な文章を理解し, その内容を日本語で説明できる。	「読む」「聞く」という作業を中心に基礎的な英語で書かれた平易な文章を理解できず, その内容を日本語で説明できない。		
評価項目2 英会話力	英文を通して, 国内事情や海外事情などに関心を持つことができる。	英文を通して, 国内事情や海外事情などに概ね関心を持つことができる。	英文を通して, 国内事情や海外事情などに概ね関心を持つことができない。		
評価項目3 英語力の把握	継続的な学習により, 英検準2級の取得が現実的となる英語力を身につけ, 英語学力テストによって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習により, 英検準2級の取得が現実的となる基本的な英語力を身につけ, 英語学力テストによって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習により, 英検準2級の取得が現実的となる基本的な英語力を身につけられず, 英語学力テストによって自身の英語力を正確に把握できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1年生で学んだ英語力を基礎として, 教科書を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能のバランスのとれた総合的な力が身につくように指導する。教科書の英文読解や文法事項の習得, 音読練習などを通して, 英検準2級を目安とする英語力の習得を目指す。				
授業の進め方・方法	「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能の総合的な英語力を高めるために, 教科書にある英文の語彙, 語法, 文法構文の説明や文法演習, 音読やペア練習などの活動を行なう。文法テキストは教科書での練習問題を補完するものとして使用し, また, 語彙や文法の習得度確認のために小テストも適宜実施する。				
注意点	授業の予習・復習を毎回行い, 授業で出された宿題 (演習課題など) に真剣に取り組むこと。定期試験に向け, 計画的に試験勉強を進めること。また, 授業の時には英和辞書を必ず持参し, 必要により文法テキストを使用すること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 1 Ambassador of World Peace	現在完了形 (受け身と進行形), 関係副詞 (where, when, why, how) などの復習を通して, その定着を図ることができる。	
		2週	Lesson 1 Ambassador of World Peace	現在完了形 (受け身と進行形), 関係副詞 (where, when, why, how) などの復習を通して, その定着を図ることができる。	
		3週	Lesson 2 Dogs as Human Companions	形式主語it, 過去完了形などの復習を通して, その定着を図ることができる。また, 比較を使ったさまざまな表現を理解することができる。	
		4週	Lesson 2 Dogs as Human Companions	形式主語it, 過去完了形などの復習を通して, その定着を図ることができる。また, 比較を使ったさまざまな表現を理解することができる。	
		5週	Lesson 3 The Past, Present and Future of Umbrellas	SVC (=that節, 疑問詞節, 現在分詞, 過去分詞), SV(O)O(=if節)の用法を理解することができる。	
		6週	Lesson 3 The Past, Present and Future of Umbrellas	SVC (=that節, 疑問詞節, 現在分詞, 過去分詞), SV(O)O(=if節)の用法を理解することができる。	
		7週	Lesson 3 The Past, Present and Future of Umbrellas	SVC (=that節, 疑問詞節, 現在分詞, 過去分詞), SV(O)O(=if節)の用法を理解することができる。	
		8週	期間テスト	既習事項を整理できる。	
	2ndQ	9週	Lesson 4 Different Ways to Enjoy Art Museums	SVOC(=現在分詞, 原形不定詞)の定着を図り, さらにSVOC (=過去分詞)の用法や, 形式目的語itの用法を理解することができる。	
		10週	Lesson 4 Different Ways to Enjoy Art Museums	SVOC(=現在分詞, 原形不定詞)の定着を図り, さらにSVOC (=過去分詞)の用法や, 形式目的語itの用法を理解することができる。	
		11週	Lesson 4 Different Ways to Enjoy Art Museums	SVOC(=現在分詞, 原形不定詞)の定着を図り, さらにSVOC (=過去分詞)の用法や, 形式目的語itの用法を理解することができる。	
		12週	Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us	seem + to不定詞, to不定詞の完了形, It + seems [appears] など + that節, 過去完了進行形の用法を理解することができる。	
		13週	Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us	seem + to不定詞, to不定詞の完了形, It + seems [appears] など + that節, 過去完了進行形の用法を理解することができる。	

後期		14週	Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us	seem + to不定詞, to不定詞の完了形, It + seems [ appears ] など + that節, 過去完了進行形の用法を理解することができる。
		15週	夏休み課題	ストーリーの大意をまとめることができる。
		16週	前期定期試験	既習事項を整理できる。
	3rdQ	1週	Lesson 6 English Textbooks from Around the World	倒置構文, 強調構文 (It is ~that [ who ]...), 動名詞の受け身, 助動詞 + 完了形の用法を理解することができる。
		2週	Lesson 6 English Textbooks from Around the World	倒置構文, 強調構文 (It is ~that [ who ]...), 動名詞の受け身, 助動詞 + 完了形の用法を理解することができる。
		3週	Lesson 7 The Hayabusa Project	関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞whose, 前置詞 + 関係代名詞, 関係副詞の非制限用法を理解することができる。
		4週	Lesson 7 The Hayabusa Project	関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞whose, 前置詞 + 関係代名詞, 関係副詞の非制限用法を理解することができる。
		5週	Lesson 8 The Origin of Santa Claus	仮定法過去の復習を通してその定着を図り, 仮定法過去完了, 譲歩表現, 同格構文の用法を理解することができる。
		6週	Lesson 8 The Origin of Santa Claus	仮定法過去の復習を通してその定着を図り, 仮定法過去完了, 譲歩表現, 同格構文の用法を理解することができる。
		7週	Lesson 8 The Origin of Santa Claus	仮定法過去の復習を通してその定着を図り, 仮定法過去完了, 譲歩表現, 同格構文の用法を理解することができる。
		8週	期間テスト	既習事項を整理できる。
	4thQ	9週	Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	分詞構文 (現在分詞) の復習を通して, その定着を図る, 付帯状況を表すwith, 分詞構文 (完了形, 過去分詞) の用法を理解することができる。
		10週	Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	分詞構文 (現在分詞) の復習を通して, その定着を図る, 付帯状況を表すwith, 分詞構文 (完了形, 過去分詞) の用法を理解することができる。
		11週	Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	分詞構文 (現在分詞) の復習を通して, その定着を図る, 付帯状況を表すwith, 分詞構文 (完了形, 過去分詞) の用法を理解することができる。
		12週	英語学力テスト	英語の基本構造が把握できる。
		13週	Lesson 10 Japanese Agriculture Is Changing	進行形の受け身, whichの非制限用法, 未来進行形, 未来完了形の用法を理解することができる。
14週		Lesson 10 Japanese Agriculture Is Changing	進行形の受け身, whichの非制限用法, 未来進行形, 未来完了形の用法を理解することができる。	
15週		Lesson 10 Japanese Agriculture Is Changing	進行形の受け身, whichの非制限用法, 未来進行形, 未来完了形の用法を理解することができる。	
16週		後期定期試験	既習事項を整理できる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
			<p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p>	2	<p>前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15</p>

			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後13,後14,後15

評価割合

	試験	課題・小テスト	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0